

災害見舞金の交付を報告 事業継承セミナーを計画

全構協・中国支部

全国鐵構工業協会の中国

支部（支部長 山本泰徳・
広島県鐵構工業会理事長・
ステントス社長）は11月28
日、広島市のホテルニュー
ヒロデンで定例会を開いた。

冒頭、今年の豪雨災害に
対して東北鐵構工業連合会
（会長 村山功・ムラヤマ
社長）並びに熊本県鐵構工
業会（理事長 永井毅・永
井製作所社長）から見舞金
が届けられたことを報告し、
岡山県と広島県、山口県の
3県の被災企業10社への交
付を決めた。山本支部長は
「支部として2団体の支援
に厚く感謝申し上げたい」
と謝辞を述べた。

このほか、来年2月2日
にホテルニューヒロデンで
「事業継承セミナー」を開
催することを報告、参加を
呼びかけた。当日は広島県

事業引継センターの担当者
や弁護士、税理士を講師に



招いて、企業内承継やM&
Aの現状などについて講演
が行われる予定。山本

災害見舞金は被災企業10社へ交付

支部長は「代表者の交
代が間近に迫る企業だ
けでなく、将来に備え
る企業にも聞いてもら
いたい。業界の先行き
を見据えるために重要
だ」と述べた。

また、「AW検定す
み肉溶接試験の免除資
格取得のための講習
会」を2月2日、「エ
ンドタブ講習会」を3
月17日にそれぞれ実施
参加人数や内容などを
確認した。

2018年12月10日付
鋼構造ジャーナル